

〔女子準決勝〕

翔 凜 中 学 校 (木・袖・君)	66	12-20 12-13	42	船 橋 市 立
		21-2		習 志 野 台 中 学 校 (船 橋)
		21-7		

【評】

新人戦の覇者翔凜と、それに挑む習志野台の一戦。序盤、お互いによく足の動いたディフェンスの中、翔凜は⑩内藤のインサイドや、⑪川井田のドライブなどで得点を重ねていく。一方、習志野台は④天野、⑮山下のインサイドと、⑦深瀬のスリーポイントなど、中外バランスよく得点し、翔凜に対し8点リードで第2Qへ。第2Q立ち上がり、翔凜は立て続けにドライブが決まり流れをつかむと、⑬米須のスリーポイントなどで徐々にその点差を縮め始める。習志野台もリバウンドを粘り、巧みな試合運びを展開し、一進一退の攻防が続く。

後半に入ると、翔凜得意の厳しいディフェンスからの速攻など、速い展開のバスケットが機能しはじめ、翔凜が逆転に成功、流れは一気に翔凜へ。対する習志野台は、翔凜のスピードによくついて行き、足を動かして必死に守るも、その差はなかなか縮まらない。第4Qに入っても、翔凜の勢いは衰えず、そのまま試合終了。敗れたものの、王者に果敢に挑み、遜色のない戦いぶりを見せた習志野台に拍手を送りたい。

〔女子準決勝〕

浦 安 市 立 見 明 川 中 学 校 (市川・浦安)	54	17-16 20-15	68	昭 和 学 院 中 学 校 (市川・浦安)
		7-23		
		10-14		

【評】

初の決勝進出を目指す見明川と本大会10連覇を狙う昭和学院の市川浦安地区同市の一戦。互いにオールコートマンツーマンでスタート。見明川は⑬玉田の思い切りのいいスリーポイントシュートで先制。その後も見明川は⑬玉田の1on1、⑮瑠璃垣のシュートを中心に得点を重ねる。一方、昭和学院は⑤坂口のジャンプシュート、⑫大城のスリーポイントシュートで食らいつき、第2Qまでは互角の展開。

第3Qも一進一退の展開が続くが、残り3分から、昭和学院は⑨藤原のスリーポイントで逆転すると、⑥野本のポストプレイ、⑦小松崎のバスケットカウントで流れをつかむ。第4Qに入っても、昭和学院は激しいディフェンスから、⑤坂口の速攻などでリードを広げる。見明川ベンチもタイムアウトで流れを取り戻そうと粘るも、その点差はなかなか縮まらず、昭和学院がリードを守り試合終了。今後も、市川・浦安地区で競い合いながら成長していくことが期待される戦いとなった。敗れはしたものの最後までゴールを果敢に狙い続けていた見明川の選手たちに拍手を送りたい。

〔女子決勝〕

翔 凜 中 学 校 (木・袖・君)	68	16-12 24-6	51	昭 和 学 院 中 学 校 (市川・浦安)
		17-14		
		11-17		

【評】

選手権初優勝を狙う翔凜と、10年連続優勝を目指す昭和学院との対戦。第1Q、翔凜は⑫高木のドライブ、⑤菊地のドライブで得点を重ねる。一方、昭和学院は⑥野本の高さを生かしたプレーを中心に得点を重ねて食らいつく。第2Qに入り、翔凜の鍛えられたディフェンスが機能し、流れをつかむ。翔凜⑪川井田のジャンプショットや⑬米須の3P等で得点を重ねリードを広げる。昭和学院も果敢にゴールに向かうも、翔凜のディフェンスにはばまれる展開。

後半に入り、翔凜は⑫高木のドライブや⑬米須のドライブを中心に着実に得点を重ねる。一方、昭和学院もディフェンスリバウンドからの速攻で食い下がる。第4Qに入り昭和学院はディフェンスのプレッシャーを強め、積極的にボールを奪い点差を詰めるが前半のリードを埋めることができず試合終了。翔凜が新人戦に続き優勝を決めた。敗れたものの最後まで諦めずにプレーした昭和学院の選手たちにも拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	$\left\{ \begin{array}{l} 14-15 \\ 17-10 \end{array} \right\}$	船橋市立
	$\left\{ \begin{array}{l} 29-11 \\ 20-20 \end{array} \right\}$	大穴中学校 (船橋)

【評】

新人戦王者の八千代松陰と、激戦区船橋を2位で勝ち抜いてきた大穴との戦い。

序盤は、お互いにハーフコートマンツーマンでスタート。第1Q, 大穴は⑤田中のスリーポイントシュートなどで一気に差を広げて勢いに乗るも、八千代松陰は⑦坂本のスリーポイントシュートからのバスケットカウントも沈めるなどしてすぐにその差を縮め、一進一退の攻防となる。第2Q, 八千代松陰は⑦坂本のポスト, ドライブがあたり、徐々に流れを取り戻す。後半はじめ, 大穴は⑧齋藤がバスケットカウントをものにして、勢いを取り戻すかに見えたが、八千代松陰はファストブレイク, ドライブからの合わせなどを巧みに繰り出し、一気に大穴を突き放す。最終Qも八千代松陰の勢いは止まらず、⑨片桐のドライブや、④大澤のスリーポイントで加点。大穴も④山口のポストや、⑤田中のドライブで食い下がるも、その差は縮まらず試合終了。八千代松陰が決勝に駒を進めた。敗れはしたものの、最後まで諦めず戦った大穴の選手たちに拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

船橋市立 前原中学校 (船橋)	58	$\left\{ \begin{array}{l} 11-21 \\ 16-16 \end{array} \right\}$	市原市立
		$\left\{ \begin{array}{l} 18-6 \\ 13-18 \end{array} \right\}$	辰巳台中学校 (市原)

【評】

新人戦の準決勝と同じ因縁の対決。両者ハーフコートマンツーマンでスタート。辰巳台は⑤駒谷のアウトサイドシュート, ⑨長谷川のジャンプショットで得点を重ねる。対する前原も⑤橋本, ⑦石神が得点して対抗。互いにボールマンへのプレッシャーを強めるも、辰巳台が徐々にリードを広げる。前原もディフェンスリバウンドからの速攻などで食い下がる展開。後半, 10点差を追いかける前原は、さらに激しくディフェンスを仕掛ける。前原⑤橋本, ⑦石神が積極的にバスケットに向かい、第3Q残り4分の所で前原が逆転に成功するも、ファウルトラブルに見舞われ苦しい展開。一進一退の攻防の最終Q. 辰巳台⑥永島がインサイドで加点すると、前原は⑥井上, ⑨宮田のスリーポイントシュートを決める。辰巳台リードで試合が進む中、諦めない前原は交代出場の⑫塚松が逆転の3Pを沈める。辰巳台も④相生がフリースローを落ち着いて決めてすぐに逆転。さらに残り14.6秒で辰巳台⑨長谷川がフリースローを沈めその差を3点とする。終了間際、前原⑨宮田が最後の望みをかけて放った3Pはリングに嫌われ試合終了。辰巳台が決勝進出。敗れはしたが、前原の夏の総体での活躍に期待がかかる一戦となった。

〔男子決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	78	$\left\{ \begin{array}{l} 15-14 \\ 25-11 \end{array} \right\}$	市原市立
		$\left\{ \begin{array}{l} 10-13 \\ 28-6 \end{array} \right\}$	辰巳台中学校 (市原)

【評】

新人戦と同じ決勝カード。互いにハーフマンツーマンでスタート。第1Q, 辰巳台は⑤駒谷のジャンプショットで先制。対する八千代松陰は⑤羽賀のゴール下でやり返す。辰巳台は、⑨長谷川のドライブや⑥永島のゴール下のシュートで攻める。八千代松陰はディフェンスからの速い攻撃で相手のファウルを誘いフリースローを着実に沈めて食い下がる。第2Q, 八千代松陰は⑦坂本のスリーポイントでの得点を皮切りに、八千代松陰④大澤らのシュートが当たり、その差を広げていく。辰巳台は、スクリーンプレイを巧みに使い、④大澤のドライブを生かそうとするも、八千代松陰15点リードで後半へ。

後半戦序盤、八千代松陰が攻めあぐむ中、辰巳台は⑥永島のゴール下, ⑤駒谷のジャンプショット, ④大澤のドライブなどで次々と加点し差を詰めていく。八千代松陰は、⑥今野のドライブなどで粘る。最終Q, 八千代松陰⑤羽賀が3本連続で速攻を決めると、流れは八千代松陰に。辰巳台も⑥永島のゴール下を中心に粘るも、その差は詰まらず試合終了。八千代松陰が新人戦に続き優勝を決めた。諦めず戦った辰巳台中の健闘をたたえたい。